

2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月12日

上場会社名 株式会社ダイキアキス  
 コード番号 4245  
 代表者(役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 副社長執行役員  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 URL <http://www.daiki-axis.com>  
 (氏名) 大亀 裕  
 (氏名) 堀淵 昭洋 (TEL) 089(927)2222  
 配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	27,571	7.3	920	10.8	1,036	7.7	495	47.4
2020年12月期第3四半期	25,687	△3.4	830	9.9	961	12.3	335	△21.2

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 611百万円( 56.2%) 2020年12月期第3四半期 391百万円( △6.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	38.39	37.97
2020年12月期第3四半期	27.94	27.90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	31,562	8,597	27.2
2020年12月期	27,778	7,634	27.5

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 8,594百万円 2020年12月期 7,629百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	12.00	—	12.00	24.00
2021年12月期	—	12.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,400	2.2	1,150	10.0	1,300	7.3	700	46.7	56.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年12月期3Q	13,514,300株	2020年12月期	12,788,800株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	379,498株	2020年12月期	383,698株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年12月期3Q	12,893,044株	2020年12月期3Q	12,019,161株

(注) 期末自己株式数および期中平均株式数(四半期累計)の計算において控除する自己株式数には、BBT信託およびJ-ESOP信託が保有する当社株式数が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ① 当社グループの経営成績

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	256億87百万円	275億71百万円	+18億83百万円	+7.3%
営業利益	8億30百万円	9億20百万円	+90百万円	+10.8%
経常利益	9億61百万円	10億36百万円	+74百万円	+7.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3億35百万円	4億95百万円	+1億59百万円	+47.4%

当第3四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症の影響によって引き続き低迷した状況が続いております。

このような状況のもと、2021年2月に2021年度から2023年における新中期経営計画「PROTECT×CHANGE」を策定いたしました。新中期経営計画のメインテーマにコーポレートスローガンである「PROTECT×CHANGE」を用いることで改めてグループ全社員がコーポレートスローガンを深く理解・体現し、グループとして一体感を持って企業使命である「環境を守る。未来を変える。」を推進いたします。

新中期経営計画における定量目標は新型コロナウイルス感染症の影響によって中長期的な業績に与える影響に未確定な要因が多いことから当連結会計年度の単年度目標のみ策定しております。定性目標は前中期経営計画において将来の収益性の向上に重点を置いた戦略を推進しており、今後も推進すべきものと考え、引き続き成長戦略としております。

セグメント	成長戦略
環境機器関連事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外における事業展開の推進</li> <li>ストックビジネスであるメンテナンス事業および上水エスコ事業の拡大</li> </ul>
住宅機器関連事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>ECビジネスを開始、新商材の発掘等、安定事業から成長事業への転化</li> </ul>
再生可能エネルギー関連事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>循環型社会の実現と安定収益確保の強化</li> <li>ポストFITの高付加価値事業・商材の発掘</li> </ul>
全社	<ul style="list-style-type: none"> <li>IT戦略を実現するための組織強化</li> <li>生産性向上ツールとしてITを利活用</li> </ul>

当第3四半期連結累計期間の売上高は275億71百万円(前年同期比7.3%増)および売上総利益は58億20百万円(前年同期比7.2%増)となりました。また、販売費及び一般管理費について、前第3四半期連結累計期間において新型コロナウイルス感染症の影響から業績の見通しが困難であったことから役員および従業員の賞与引当金繰入額の減額を行った結果、営業利益は9億20百万円(前年同期比10.8%増)および経常利益は10億36百万円(前年同期比7.7%増)となりました。

特別損益について、製造設備等の撤去に伴う固定資産除却損11百万円およびバイオディーゼル燃料事業に係る固定資産(BDF製造設備)の減損損失54百万円を計上したことにより、税金等調整前四半期純利益は9億77百万円(前年同四半期比10.9%増)となりました。

なお、前年12月に連結子会社の株式会社ダイキアクシス・サステイナブル・パワー(旧、株式会社シルフィード)が発行していた優先配当権が付された種類株式を当社が取得したことにより、当第3四半期連結累計期間においてそれに係る非支配株主に帰属する四半期純利益が減少した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億95百万円(前年同期比47.4%増)となりました。

## ② セグメントごとの経営成績

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

## (環境機器関連事業)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	127億43百万円	144億2百万円	+16億59百万円	+13.0%
セグメント利益(営業利益)	7億98百万円	11億47百万円	+3億49百万円	+43.8%

## ・浄化槽・排水処理システム

売上高は前年同四半期と比べ大幅に増加いたしました。その要因として、新型コロナウイルス感染症の影響による設備投資需要の減少はあるものの、国内売上高における大型案件(食品工場等の産業排水処理施設)の工事進行基準による進捗率に応じた売上高の計上が大きく寄与しております。

海外につきましても新型コロナウイルス感染症拡大による景況悪化の影響を引き続き受けておりますが、中国における大型案件(食品工場の産業排水処理施設)の完成やコロナ禍においても引き合いが旺盛なインドの影響によって海外売上高は増加しております。

ストックビジネスであるメンテナンス売上については、成長戦略に基づいたメンテナンス契約の拡大を推進したことにより増加しております。

## ・地下水飲料化事業

ストックビジネスであるエスコ契約に係る売上高およびメンテナンス売上は新規契約によって増加しております。

また、地下水飲料化プラントの販売について顧客からのニーズに対応するために営業の強化を進めていることから、当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同四半期と比較して増加しております。

※エスコ契約：設備費用・運転費用をすべて当社が調達し、月々のシステム使用料金を水の使用量に応じて契約先にご負担頂く契約です。

前第3四半期連結累計期間において新型コロナウイルス感染症の影響に伴い賞与引当金繰入額の見直しを行ったことにより人件費については前年同四半期と比較して増加しておりますが、同感染症によって移動に制限が発生したことによる旅費交通費減少等の理由によって販売費及び一般管理費については同水準で推移しております。その結果、セグメント利益(営業利益)の前年同四半期比は大幅に増加しております。

## (住宅機器関連事業)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	111億9百万円	119億40百万円	+8億30百万円	+7.5%
セグメント利益(営業利益)	2億99百万円	3億54百万円	+54百万円	+18.1%

## ・建設関連業者等(ゼネコン・地場建築業者・ハウスメーカー等)

当第3四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症の影響によって着工遅れが生じたことによって工期が後ろ倒しとなった案件がありました。一方で、体育館における放射冷暖房設備の設置や従来は鉄骨やRC造でなければ建築出来なかった建物を間伐材などを利用して木造で建築する工法を取り入れた建物建築といった環境配慮型商材の販売が好調でした。また、ホームセンター事業を展開しているDCMグループの店舗向け空調・衛生機器等の改修・更新、マンションへの衛生機器等の納入や教育関連施設への家具納入などの大型案件完成の影響によって大幅に増加しております。

また、新型コロナウイルス感染症に関連した補助金の影響により、非接触型トイレ(自動開閉や自動洗浄等)の需要も多く発生いたしました。

## ・ホームセンターリテール商材

前第3四半期連結累計期間におきましては新型コロナウイルス感染症拡大の影響によってメーカー製品の出荷が滞ったことによって納品が遅延した影響がありました。当第3四半期連結累計期間におきましてもコロナ禍において需要の高い非接触型商材につきましても納期に時間が掛かっているものの、その他の商品調達につきましては大きな影響がないことに加え、モデルチェンジによる新商品の販売によって売上は堅調に推移しております。

- ・住機部門工事(外壁・店舗建築・冷凍冷蔵工事等)

設備投資需要消極化の影響がある中、外壁工事および冷凍・冷蔵設備売上については中大型案件の影響によって増加いたしました。農業温室関係売上の減少およびDCM店舗建築工事に係る売上計上が当第3四半期連結累計期間になかったことから全体では前年同四半期と比較して大幅に減少しております。

- ・ECビジネス(住宅設備関連工事のオンライン注文)

昨年より本格的に着手した当事業では、前第3四半期連結累計期間においては施工事業者との関係構築が新型コロナウイルス感染症の影響によって停滞し、提供可能エリア・サービスに制限が発生しました。当第3四半期連結累計期間におきましても想定よりも遅延しており、売上規模は僅少であります。なお、すでに展開済みのDCMとの協業によるECビジネスに加え、当社独自運営による全国の住宅設備関連工事のECビジネス構築を進めております。

## (再生可能エネルギー関連事業)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	6億90百万円	7億19百万円	+28百万円	+4.1%
セグメント利益(営業利益)	2億82百万円	2億20百万円	△61百万円	△21.8%

- ・太陽光発電に係る売電事業

2018年度よりDCMグループの店舗屋根を賃借して発電施設を建設し、固定価格買取制度(FIT)を利用した売電を実施しております。当第3四半期連結会計期間末日において130件(前年同四半期末日は128件)の系統連系が完了しており、当初計画していました施設への設置は全て完了いたしました。

売上高につきまして、連系施設数の増加に加え日照時間が前年同四半期と比較して長かったことなどが増加要因としてございますが、前第2四半期連結累計期間末において株式会社DADを売却したことにより太陽光発電に係る売電事業の売上高は減少しております。

また、一部の施設における施工上の不具合が判明し、同様の施設を点検した際に生じた費用が発生したことからセグメント利益(営業利益)が減少しております。

- ・小形風力発電事業

小形風力発電に係る売電のための施設について当第3四半期連結累計期間において12施設の連系が完了しております。その結果、小形風力発電事業における売上高は堅調に推移しております。なお、小形風力発電施設の設置は2025年までに70サイトを計画しております。

- ・バイオディーゼル燃料関連事業

「B5軽油」の営業強化に伴い契約件数が増加したことにより、前年同四半期と比較して売上高は増加しております。

なお、当事業は2021年7月に子会社の株式会社ダイキアクシス・サステイナブル・パワー(旧、株式会社シルフィード)へ事業を移管し、当該子会社へ再生可能エネルギー関連事業を集約いたしました。これにより、急拡大する再生可能エネルギー市場のニーズに対し、より素早い連携と幅広い提案を実施する体制が整いました。

※B5軽油：当社グループでは、使用済み天ぷら油を精製したバイオディーゼル燃料である「D・0iL」を製造しております。「B5軽油」は軽油にバイオディーゼル燃料を5%混合したものであり、国の定める軽油の強制規格(法律に基づいて守ることが義務付けられている規格)を満たしており、軽油と同様に安全かつ安心して使用可能です。

## (その他の事業)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	11億43百万円	5億8百万円	△6億35百万円	△55.5%
セグメント利益(営業利益)	1億44百万円	1億2百万円	△42百万円	△29.1%

土木工事業を営んでいた株式会社DADを前第2四半期連結会計期間末において売却したことにより売上高は大きく減少しております。

家庭用飲料水事業については、水道直結型のウォーターサーバーの契約者数の増加によって堅調に推移しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

	前連結会計年度	当第3四半期 連結会計期間	増減額	増減率
流動資産	174億48百万円	212億68百万円	+38億20百万円	+21.9%
固定資産	103億30百万円	102億93百万円	△36百万円	△0.4%
資産合計	277億78百万円	315億62百万円	+37億84百万円	+13.6%

流動資産につきましては、新株予約権の行使やグリーンボンドの発行により現金及び預金が増加しております。また、環境機器関連事業において当第3四半期連結累計期間に排水処理施設等の大型案件の完成に伴い完成工事未収入金が増加しております。

固定資産につきましては、ストックビジネス拡大による事業基盤の強化や安定収益確保のために、環境機器関連事業の地下水飲料化システムや再生可能エネルギー関連事業の太陽光発電および小形風力発電設備への投資を継続して実施しておりますが、バイオディーゼル燃料事業に係る固定資産(BDF製造設備)の減損損失を計上したことや子会社ののれんの償却により、前連結会計年度と比較すると減少しております。

## (負債・純資産)

	前連結会計年度	当第3四半期 連結会計期間	増減額	増減率
流動負債	158億78百万円	171億74百万円	+12億95百万円	+8.2%
固定負債	42億65百万円	57億90百万円	+15億25百万円	+35.8%
純資産	76億34百万円	85億97百万円	+9億63百万円	+12.6%
負債・純資産合計	277億78百万円	315億62百万円	+37億84百万円	+13.6%

流動負債につきましては、当連結会計年度末に完成予定の大型案件の未成工事受入金により増加しております。

固定負債につきましては、設備投資への資金を確保するためにシンジケートローンの実行およびグリーンボンドの発行を行ったことにより増加しております。

純資産につきましては、前連結会計年度より発行した行使価額修正条項付新株予約権の行使により、資本金および資本準備金が増加しております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月12日に公表いたしました2021年12月期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,896,415	9,677,288
受取手形及び売掛金	5,757,767	5,876,483
完成工事未収入金	1,358,511	2,130,572
商品及び製品	346,847	452,236
仕掛品	10,774	38,594
未成工事支出金	1,461,911	2,053,239
原材料及び貯蔵品	243,770	283,637
その他	507,933	912,977
貸倒引当金	△135,624	△156,168
流動資産合計	17,448,307	21,268,861
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,115,804	2,151,090
減価償却累計額	△757,057	△817,995
建物及び構築物（純額）	1,358,747	1,333,094
機械装置及び運搬具	6,596,706	7,133,596
減価償却累計額	△2,090,272	△2,405,523
機械装置及び運搬具（純額）	4,506,433	4,728,073
土地	1,614,355	1,826,227
建設仮勘定	439,680	55,330
その他	667,974	671,373
減価償却累計額	△539,789	△544,568
その他（純額）	128,185	126,805
有形固定資産合計	8,047,402	8,069,531
無形固定資産		
のれん	516,295	455,430
その他	225,898	184,572
無形固定資産合計	742,194	640,003
投資その他の資産		
投資有価証券	401,786	417,819
その他	1,377,029	1,392,320
貸倒引当金	△238,204	△225,756
投資その他の資産合計	1,540,611	1,584,382
固定資産合計	10,330,208	10,293,917
資産合計	27,778,515	31,562,779



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,280,836	2,313,448
工事未払金	1,248,014	1,339,011
短期借入金	9,192,963	8,937,723
1年内返済予定の長期借入金	83,016	124,856
1年内償還予定の社債	300,000	400,000
未払法人税等	264,897	284,229
未成工事受入金	822,602	1,891,167
賞与引当金	272,674	403,701
引当金	134,865	237,237
その他	1,279,011	1,242,926
流動負債合計	15,878,882	17,174,302
固定負債		
社債	2,575,000	3,250,000
長期借入金	404,598	1,269,366
引当金	83,971	74,085
資産除去債務	386,737	411,403
その他	815,050	785,819
固定負債合計	4,265,357	5,790,673
負債合計	20,144,240	22,964,975
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,158,531	2,491,298
資本剰余金	1,897,636	2,230,402
利益剰余金	4,033,999	4,214,562
自己株式	△289,550	△287,492
株主資本合計	7,800,616	8,648,770
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56,600	59,637
為替換算調整勘定	△227,694	△114,213
その他の包括利益累計額合計	△171,094	△54,576
新株予約権	3,328	2,189
非支配株主持分	1,425	1,419
純資産合計	7,634,275	8,597,803
負債純資産合計	27,778,515	31,562,779

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)
売上高	25,687,550	27,571,444
売上原価	20,256,984	21,750,604
売上総利益	5,430,566	5,820,839
販売費及び一般管理費	4,600,141	4,900,324
営業利益	830,424	920,515
営業外収益		
受取利息	5,700	3,567
受取配当金	22,695	5,369
仕入割引	103,907	111,835
持分法による投資利益	446	—
その他	102,845	69,722
営業外収益合計	235,594	190,494
営業外費用		
支払利息	23,753	21,968
社債利息	6,692	8,562
持分法による投資損失	—	5,771
新株予約権発行費	11,119	—
貸倒引当金繰入額	△246	△62
支払手数料	42,966	28,517
その他	20,011	10,103
営業外費用合計	104,296	74,861
経常利益	961,722	1,036,148
特別利益		
固定資産売却益	9,101	801
投資有価証券売却益	5,547	9,385
関係会社株式売却益	152,298	—
特別利益合計	166,947	10,187
特別損失		
固定資産売却損	83	372
固定資産除却損	4,282	11,438
減損損失	236,810	54,726
投資有価証券売却損	29	—
投資有価証券評価損	6,717	—
会員権売却損	—	2,781
特別損失合計	247,923	69,317
税金等調整前四半期純利益	880,746	977,018
法人税、住民税及び事業税	327,650	538,437
法人税等調整額	145,333	△56,415
法人税等合計	472,983	482,021
四半期純利益	407,762	494,997
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	72,000	△5
親会社株主に帰属する四半期純利益	335,762	495,002

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	407,762	494,997
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,601	3,037
為替換算調整勘定	△24,290	110,473
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,506	3,007
その他の包括利益合計	△16,195	116,518
四半期包括利益	391,567	611,515
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	319,567	611,521
非支配株主に係る四半期包括利益	72,000	△5

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月27日 定時株主総会	普通株式	148,903	12	2019年12月31日	2020年3月30日	利益剰余金
2020年8月12日 取締役会	普通株式	148,903	12	2020年6月30日	2020年9月4日	利益剰余金

(注) 1. 2020年3月27日定時株主総会決議による配当金の総額には、BBT信託およびJ-ESOP信託が保有する当社の株式に対する配当金額4,732千円が含まれております。

2. 2020年8月12日取締役会決議による配当金の総額には、BBT信託およびJ-ESOP信託が保有する当社の株式に対する配当金額4,632千円が含まれております。

## 2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

## 3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年3月26日 定時株主総会	普通株式	153,463	12	2020年12月31日	2021年3月29日	利益剰余金
2021年8月12日 取締役会	普通株式	160,976	12	2021年6月30日	2021年9月3日	利益剰余金

(注) 1. 2021年3月26日定時株主総会決議による配当金の総額には、BBT信託およびJ-ESOP信託が保有する当社の株式に対する配当金額4,602千円が含まれております。

2. 2021年8月12日取締役会決議による配当金の総額には、BBT信託およびJ-ESOP信託が保有する当社の株式に対する配当金額4,594千円が含まれております。

## 2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

## 3. 株主資本の著しい変動

第3四半期連結累計期間において、行使価額修正条項付新株予約権に係る新株予約権の行使に伴い、資本金および資本準備金がそれぞれ332,766千円増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が2,491,298千円、資本準備金が2,230,402千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	環境機器 関連	住宅機器 関連	再生可能 エネルギー 関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,743,336	11,109,801	690,748	24,543,886	1,143,664	25,687,550
セグメント間の 内部売上高または振替高	27,540	1,084	451	29,075	4,830	33,906
計	12,770,877	11,110,885	691,199	24,572,962	1,148,495	25,721,457
セグメント利益	798,281	299,916	282,038	1,380,237	144,781	1,525,018

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家庭用飲料水事業および土木工事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,380,237
「その他」の区分の利益	144,781
セグメント間取引消去	97,510
全社費用(注)	△792,104
四半期連結損益計算書の営業利益	830,424

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「環境機器関連事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当第3四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、208,840千円であります。

「再生可能エネルギー関連事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当第3四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、27,970千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、連結子会社であるCRYSTAL CLEAR CONTRACTOR PTE. LTD.に係るのれんを、株式取得時に想定していた受注案件の見直し等の影響により当初想定期間内での投資回収が見込めなくなったことから帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として135,349千円計上しております。

なお、当該減損損失は上記、「(固定資産に係る重要な減損損失)」の「環境機器関連事業」セグメントにおける減損損失の計上額に含まれております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	環境機器 関連	住宅機器 関連	再生可能 エネルギー 関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,402,918	11,940,481	719,400	27,062,799	508,644	27,571,444
セグメント間の 内部売上高または振替高	38,316	4,712	1,575	44,603	247	44,851
計	14,441,234	11,945,193	720,975	27,107,403	508,892	27,616,296
セグメント利益	1,147,730	354,260	220,531	1,722,521	102,676	1,825,198

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家庭用飲料水事業および土木工事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,722,521
「その他」の区分の利益	102,676
セグメント間取引消去	104,668
全社費用(注)	△1,009,350
四半期連結損益計算書の営業利益	920,515

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「再生可能エネルギー関連事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当第3四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、54,726千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。